

いきたいと思っております。また、本事業を通じて、次世代の方々にロータリークラブを、我々の活動を理解していただく貴重な場ともなりました。

今後もコロナ禍の状況が続く中、活動が大幅に制限されていく状況ではありますが、限られた枠の中でも今のこのタイミングだからこそ見つけ出せること、必要とされるものを会員一同で知恵を出し合い「心ひとつにして」岡山東ロータリークラブとして今後も奉仕活動を進めて参りたいと思います。





「新型コロナ時代の新たな日常」と ロータリー活動

2020-21年度 岡山北西ロータリークラブ

幹事 鈴木 一 生

■ 奉仕活動に関する事例

当クラブと致しましては、多くの活動において中止や延期の判断が続く中ではございますが、当初の計画内容を変更しつつも実行できた活動として、「親睦活動」と「社会奉仕活動」が挙げられます。

以下、活動事例と変更内容です。

1. クリスマス家族例会(親睦)

	＜変更前＞	＜変更後＞
名 称	クリスマス家族例会	年末例会
開 催 日	2020年12月20日(日)	2020年12月21日(月)
開 催 時 間	18:30-20:30	12:30-13:30
参 加 者	会員とその家族	会員限定
ア ル コ ール	あり	なし
催 し 物	岡山フィル、マジックショー等	同好会活動報告

2. 子どもシェルターモモ支援(社会奉仕)

当初、施設での食事会などを通じて子どもたちとの交流を深める中で、子どもたちの心を開き、進路などの希望を聞きつつ、職業体験や就業支援の道を探る活動を考えておりました。しかし、コロナ禍での食事会を断念し、スタッフの方々との打ち合わせを通じて子どもたちの自立支援に必要としている物資をヒアリングし、それを会員からの寄付やクラブの予算を使いつつ、物的支援を行うという方向へ変更しました。今後も親クラブである岡山北ロータリークラブの奉仕プロジェクト委員会と協力しつつ、支援の可能性を広げて参ります。

以下、今年度の支援物資です。

○子ども服(会員より程度の良いものを提供) ○紙おむつ(会員より新品購入し提供)

○お米(会員より提供) ○防災グッズ(※) ○学習教材(※)

(※) ネット通販サイトのアマゾンを利用し、必要な物品情報を共有した上で支援対象物の購入資金をクラブの予算から提供

3. 犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会「あした彩」支援（社会奉仕）

全国的にもめずらしい大学の垣根を越えた犯罪被害者支援ボランティア連絡会「あした彩」の支援を、昨年度よりスタートしましたが、今年度は新型コロナの影響で、大学側も授業や会議の開催さえ苦勞しております。クラブとしても30周年記念事業として、昨年10月におかやま未来ホール（イオン岡山）を利用したフォーラムの開催を模索しておりましたが、新型コロナの感染拡大防止の観点から1年延期して開催する方向で再検討しております。

しかし、フォーラムの開催を楽しみにしていた今年度卒業する学生達の気持ちを汲み、各大学との調整の中で「あした彩」と当クラブとの合同勉強会を、2月23日（火）国際交流センターにて開催予定です。

もちろん参加人数やソーシャルディスタンス、マスク着用や消毒等のコロナ対策を行った上で、「企画は学生」「費用はR C」という前提の中、当クラブとしまでも資金提供にとどまらず、共に学び「被害者にも加害者にもならない社会、犯罪のない安心安全な地域社会の実現」という意識のもとに社会奉仕活動を行っております。



防災グッズ、学習教材 寄贈の様子



京都で行われたフォーラムへ岡山から参加した際の集合写真とディスカッションの様子

■クラブ運営に関する事例

例会開催において不安定な状況が続く中、開催時の工夫としては以下の点が挙げられます。

- 会場を通常より広い部屋にする
- 1テーブルあたりの座席を減らす
- 例会時間を短縮する(30分程度)
- 食事を持ち帰り用のお弁当にする
- 検温、消毒、マスク着用を呼びかける
- 例会プログラムをできるだけ会員による卓話とする

特に、例会中の食事を持ち帰り用のお弁当にすることで、「大人数での飲食」「マスクを外した状態での時間の共有」というリスクの排除を行うことができ、参加者へ安心感を提供することができたと思います。また、例会プログラムを会員による内容を多くすることで、コロナの影響による急な日程変更(休会等)にも対応しやすいスケジュールにしております。



コロナ禍におけるロータリー活動

2020-21年度 岡山後楽園ロータリークラブ

前幹事 藤原 學

皆さまもご承知のとおり、「新型コロナウイルス」がもたらした影響は、例会休止という前代未聞の事態を起しました。私の幹事の期間に当クラブは何をしたか、どう取り組んだかの報告をさせていただきます。

まず赤木前会長が提案されたのが、「オンライン会合」をするために会員が「オンライン」を勉強する必要があるのではないかということでした。理事会やビジョン委員会(前後3期による運営委員会)にも活かしますし、既に花見例会と家族旅行が中止の方向にある親睦委員会も、リモートで何かできないかという動きになり、早々に卓話をオンラインの勉強会に致しました。講師は、私塾で「リモート授業」を開始していた私の次男が身近に居たのが幸いしました。会員の皆様には例会場に携帯・タブレット端末・ノートパソコンなどを持ってきていただき、「オンラインで結ぶには」を勉強し、「Zoom会議」を体験しました。Zoomで親睦もできないかということになり「リモート飲み会」を含め、勉強の成果を数回実施しました。機器の不具合、理解度等多少問題を残しつつ、例会休止中の対策となりました。

次に会長は、我がクラブの「例会休止」を決定されると、自ら週報番外編を作成され、会員相互の意思疎通を図ることに努められました。3月から5月にかけて7回例会が中止となりましたが、その間に週報番外編は5号まで発行されました。赤木前会長の「会員相互の意思疎通を図る」という強い思いに敬服いたしました。

この週報番外編は、岡山県にマスクを寄贈してはどうかという情報と共に、例会の再開を希望する前会長の意思が会員の皆さんに発信されました。この議案は早急に決定され5月12日(火)に岡山県庁で赤木前会長から岡山県保健福祉課長に5000枚のマスクの寄贈が行われました。又、我がクラブの医療従事者・福祉施設会員にも5000枚の寄贈を致しました。

6月になってまだ例会取りやめが続いているクラブもありましたが、当クラブは感染防止対策を駆使して、6月25日の最終夜間例会を昼に変更して行うことにしました。

会場入り口にセンサー式検温器を置き体温チェック、アルコール消毒液と予備のマスクを配置し、会員の皆様は必ずマスクを着用してからの入場。会場内は丸テーブルを取りやめ、長机をスクール形式に配置し、ソーシャルディスタンスを確保した椅子に着席。会食中に挨拶に立ち歩かないことなどを実行しました。



楽しいリモート親睦会



高価なセンサー式検温器を置き体温チェック

係なく出来るので、卓話は遠方の方とかも知能になります。私は東京からの卓話を計画しています。

また、私が健康のため参加している岡山後楽園R Cの自転車同好会の話ですが、この自転車同好会を一クラブ内だけでなく、もっと広げたらどうかという話になりました。同期幹事内に自転車がお好きな方がいらっしゃったので、我がクラブの同好会の日程やコースをお知らせしました。ところが、「健康のために自転車に乗ろう！」と各クラブに宣伝した格好になり、同期幹事会の数人と他クラブの会員やご家族などが参加してくださいました。横のつながりが太くなったと思わせてくれる行事でした。今後も、「県南16ロータリークラブ同期幹事会」から「県南16ロータリークラブの皆様」へと広がった活動があることに期待します。自転車同好会も、さらに繋がっていきましょう。

最後に、幹事をさせていただくまで、我がクラブのことしか思いが至りませんでした。今は、地区クラブ内だからこそっとお互いに理解し、協力しあう事ができると思っています。今まで通りが駄目だったコロナ禍の年度では、今まで以上の連携が必要だったのかもしれません。これからもそうあるべきだと思います。

以上です。ありがとうございました。

今後もこれらの予防対策を厳守して、例会を続けようと、見通しを立てていたのにもかかわらず、コロナウイルスは益々蔓延しています。新たに、例会場の様子をZoomに映して、不参加の方でもオンラインで見えていただくことを試みています。

話は戻りますが、先行きが不安だったころ、一番助かったのは、やはり同期の幹事とのグループラインのやりとりが大きかったと思います。

話題は主に、今後の会合・会議の在り方として、やはりオンラインを使ってになるだろうという事です。距離に関



現在例会中に欠席者へリモート配信



自転車同好会と前幹事・他クラブ会員 合同サイクリング

講 評



事例発表講評

パストガバナー 末 長 範 彦
(岡山RC)

第8・第9グループ合同IMが第8グループガバナー補佐 廣野學様、第9グループガバナー補佐 川本平山様、第8グループIM実行委員長 有本稔様、第9グループIM実行委員長 丸山夏樹様をはじめ、岡山後楽園ロータリークラブの方々の大変なご努力により、まとまりました。

インターシティ・ミーティングの目的・意義・重要性・社会環境・ロータリー各クラブ並びにロータリアンの状況等々を総合的に検討・配慮され、『「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動』をテーマに「IM研修テキスト」による「紙面IM」のインターシティ・ミーティング開催を実現され大変おめでとうございます。

第8・第9グループの10ロータリークラブ全クラブが紙面で参加され、平時ではないさまざまな方向からのレポートが各クラブから出されており、それぞれ考えさせられ、アイデアが広がりヒントになる事が多くある様に思います。

そして、延原正パストガバナー様の「海を越えて来た人たちは大切にしないで、親切にしてさしあげなさい」のテーマは、島国であるわが国は、いにしえより多くの文物は大陸から荒波を越え命を懸けた異国の人々の渡来により伝来され、私たちはこのような歴史の上に暮らしている事実は否定できません。「海を越えて来た人」現在の留学生に「米山記念奨学会」「国際理解と親善」に寄与されますことを祈念します。

今回のインターシティ・ミーティングは「IM研修テキスト」が手元にあります。

各クラブで今後のクラブの活動のあり方をはじめ、改善の検討の会議をしてみるのもよいかわかりません。



お礼のあいさつ

2020-21年度
国際ロータリー第2690地区 第8グループ
ホストクラブ会長 前 原 知 明
(津山中央RC)

国際ロータリー第2690地区第8・第9グループ合同IM開催につきまして、第9グループ岡山後楽園ロータリークラブと当津山中央ロータリークラブで、2020年1月より「合同IM協議会」を立ち上げ、2021年3月27日のIM開催に向け検討してまいりました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、非常事態宣言の発令の中でのオンライン形式IMの実施についても協議を重ねてきましたが、全会員の受信環境が整っているわけではないため、困難ではないかとの意見もありました。IMの目的である「会員の研修、そして親睦を深める機会」の開催が出来なくなりましたが、会議の結果、研修テキストを用いて、従来のIMプログラムを紙面上で実施する「紙面IM」として開催することとなりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が終息し、一日も早くロータリアンが一堂に会し、ロータリー活動ができますように願っております。

会員の皆様にはご協力、ご理解を賜り誠にありがとうございました。



次期ガバナー補佐あいさつ

国際ロータリー第2690地区 第8グループ

次期ガバナー補佐 長谷川 隆 嗣

(津山RC)

懐かしい皆様方と一堂に会せます恒例のIM開催を心待ちにしておりましたが、その場が失われ、大変落胆しております。その環境下にあっても、津山RCはロータリアンとして、故郷と自然を愛し、奉仕の心で地域の皆様との繋がる大切さを共鳴しながら、今後の活動の糧を探し求めております。本年度IMをご担当の岡山後楽園RC及び津山中央RCの実行委員会の皆様方は、誠に直面難局なさったことでしょう。「紙面IM」という新しい形を見出だしてくださり、ご尽力と称賛いたします。STAY HOMEの昨今、私はこれまで発刊のロータリーの友、冊子やネットを回視し、振り返ってみました。感染症ポリオとの闘い、ロータリー平和センターの設立、ロータリーの豊かな歴史に奮励した人々、活動に支えられた人々、多くの逸話に感動いたしました。それらの背景に導かれながら、第8・第9グループは近隣RCとの絆をより深め、互いが拠りどころとなり、吸収し合っていかなければなりません。以前のように、気軽に集えない現実がございます。こんな時代だからこそ、同じ志のロータリアンは奉仕の心を担うべく、様々なシーンで活かしたり、着想を得られるはずです。そのエピソードを持ち寄って、IMパートナーの皆様方と歓談の叶うその日を心より待ち望みます。加えて次年度は、拙い私が補佐の任をお受けいたしました。大変お世話になりますが、一助になれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

プロフィール

は せ が わ た か し
長谷川 隆嗣 (津山RC)

生年月日 1951年2月18日
所属RC 津山ロータリークラブ
職業分類 ガラス製品販売
勤務先 株式会社 長谷川硝子店
役職 取締役会長

<ロータリー歴>

2007年10月1日 津山ロータリークラブ入会
2017-18年度 第61代会長
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー 2回
第2回米山功労者



次期ガバナー補佐あいさつ

国際ロータリー第2690地区 第9グループ

次期ガバナー補佐 堀川 辰也

(岡山北西RC)

第9グループ次期ガバナー補佐に指名されました、岡山北西ロータリークラブの堀川辰也です。新型コロナウイルスの影響で、2年続けて一堂に会してのインターシティ・ミーティングが中止となり、第8グループ及び第9グループのロータリアンの皆様にお会いすることができないのは、誠に残念に思います。来年には新型コロナウイルスの影響も収まり、無事にインターシティ・ミーティングが開催できることを願っています。そして、多くのロータリアンの皆様が集い、楽しく有意義なインターシティ・ミーティングになるよう、しっかり準備をしてまいります。

次年度のインターシティ・ミーティングは、第8グループの津山ロータリークラブと岡山北西ロータリークラブが担当し、来年2月に岡山市にて開催予定です。是非たくさんのロータリアンの方々の参加をお願いいたします。

さて、岩崎地区ガバナーエレクトは、持ち前のバイタリティーで、我々に元気を与えていただける方です。私は、ガバナー補佐として岩崎地区ガバナーエレクトの元気を皆様に伝え、皆様のクラブが一層元気になるようお手伝いできればと思っています。まだまだ未熟な私ですが、精一杯ガバナー補佐の職務に励みたいと思いますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

プロフィール

ほりかわ たつ や
堀川 辰也 (岡山北西RC)

生年月日 1957年3月29日
所属RC 岡山北西ロータリークラブ
職業分類 不動産管理
勤務先 株式会社 日乃出土地
役職 代表取締役

<ロータリー歴>

1991年2月25日 岡山北西ロータリークラブ入会 創立会員
2009-2010年度 第20代幹事
2015-2016年度 第26代会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 2回
第1回米山功労者



閉会あいさつ

2020-21年度
国際ロータリー第2690地区 第8グループ

ガバナー補佐 廣 野 學
(津山中央RC)

2020-21年度の第8・第9グループ合同IMは、新型コロナウイルスの感染症拡大に鑑みロータリアンが一堂に会する対面方式の会議は中止し、代替案として『「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動』についてグループ内全てのクラブよりその取り組みをご寄稿いただき、「IM研修テキスト」として発行することにしました。

ご存知のように、IMは、グループ内それぞれクラブの運営方針や具体的な奉仕活動などを情報共有し、また、お互いに親睦を深める大切な研修の場です。年度当初より、合同IMの開催に向けて、岡山後楽園ロータリークラブと開催日やテーマ、基調講演、特別講演、パネルディスカッションのクラブ選定などプログラムを対面方式やオンライン会議で審議・決定し、それぞれ順調に進んでおりました。

ところが、政府は年明けに11都府県に緊急事態宣言を発布、2月2日には栃木県を除く10都府県に発出の緊急事態宣言を1カ月延長するなどその収束見通しは不透明な状況にあり、IM当日に、感染予防対策をどの様に徹底しても、550有余人が一堂に集まる会議を安全安心に実施することは難しく、また、どの様に感染予防対策を徹底しても、参加者の罹患に対する懸念は払拭しえません。

そこで、各クラブとオンライン方式で開催できないかなど能動的にその方策を検討しましたが、受信環境の問題点や三密を完全に払拭することは難しい。かと言って、IMの目的である研修の場を昨年度に続いて中止することは、何としても回避したいとの共通認識で一致し第9グループ川本ガバナー補佐と岡山後楽園RCの強いリーダーシップの下、その使命感と指導力で“為せば成る 為さねばならぬ何事も為さぬは人の為さぬなりけり”の教えに背中を押され「ロータリアンの研修と継続」に特化した「IM研修テキスト」を発刊し、登録者全員に配布することを1月16日のオンライン会議で決議しました。

「IM研修テキスト」には、当初予定のプログラムに加えて、グループ内の全クラブより『「新型コロナ時代の新たな日常」とロータリー活動』について、それぞれクラブの例会の運営方針や奉仕活動の取り組みをご投稿いただきました。

全クラブ参加型の「IM研修テキスト」の発刊配布は、菊池ガバナーの地区テーマ「こころの扉を開こう＝多様性を受け入れよう」に合致し、世界を震撼させる未曾有の疫病ともいえる新型コロナウイルス肺炎の危機的な状況に多様性を取り入れた先駆的な開催方法であると思います。

コロナ禍において各クラブとも奉仕活動や例会運営に大変苦慮されており、本「IM研修テキスト」に収録の具体的活動内容や奉仕活動を参考に次年度のプログラム編成の一助になれば幸いです。

ロータリアンの皆様には、コロナ禍における経済活動や日常生活に大きな制約を受けながらも、奉仕活動に前向きに取り組んでおられることと思います。三密回避をしっかりと守って罹患しないように気をつけましょう。

やがて、全国民にワクチン接種の免疫抗体ができて収束した後は、ロータリアンの皆様と情報交換や懇親を深め、手を携えて奉仕の理想に邁進しましょう。

“コロナに負けるな” 共に頑張りましょう